

第四十一回 帝國議會 貴族院 家祿賞典祿處分ニ關スル法律案外一件特別委員會會議事速記錄第一號

付託議案

沒祿處分ヲ受ケタル者ニ對スル給與處分ニ關スル法律案

委員氏名

委員長 子爵八條 隆正君
副委員長 磯部 四郎君
子爵池田 政時君
松室 致君
男爵山川健次郎君
男爵本田 親濟君
男爵赤松 範一君
男爵禮次郎君
島 定治郎君

大正八年三月八日(土曜日)午前十時十四分開會

○委員長(子爵八條隆正君) ソレデハ是ヨリ家祿賞典祿處分ニ關スル法律案及沒祿處分ヲ受ケタル者ニ對スル給與處分ニ關スル法律案、此二案ノ委員會ヲ開キマス、此際御諮リ致シマスガ、此二案ハ衆議院ノ提出案デアリマシテ政府提出案デアリマセヌカラ、政府ノ方カラ進ンデ御說明ハナカラウカトモ思ヒマスガ、矢張り從來ノ沿革モ政府ノ方デハ御承知ノコトデモアリ、又衆議院ノ方ト直接御交渉ニナツタ關係モアリマスカラシテ、能ク其事情ハ御承知ニナツテ居ラウカト考ヘマスカラ、一應政府委員ノ方カラシテ提案ノ理由ナリ、又政府ノ意見ナリヲ伺ツタ方ガ宜シカラウカ、或ハ又既ニ多年ノ懸案デアリマシテ皆サンモ御承知ノコトデアリマスカラ直ニ質問ニ入シテ宜シウゴザイマセウカ、御意見ヲ伺ヒマスガ、ドンナモノデゴザイマスガ

○男爵本田親濟君 唯今委員長ノ仰セノ如ク、此案ハ衆議院カラ提出ニナリマシタ案デゴザイマスシ、且ツ年々衆議院カラ提出ニナツテ貴族院ニ廻ッテ居リマスノデゴザイマスカラ、既ニ此内容ハ諸君ニ於ケラレテモ多分ハ御承知デアラウト思ヒマスケレドモ、所々箇條ノ變テ居ル所モ見エルヤウデゴザイマスシ、又委員長ノ仰セノ如ク政府委員トシテ衆議院トノ間ニ於テ御交渉ノアリマシタ際、此事柄ガ能ク御分リニナツテ居ルコトデアリマスカラ、重ネテ御說明ヲ願フト云フコトハ甚ダ諄イ譯デアリマスガ、前申シマス通り多少違テ居ル所モアリマスシ、又委員諸君ノ中ニモ或ハ多少御不審ノ點モアラウト存ジマスカラ、一應ハ御說明ヲ願ツタ方

ガ宜クハアルマイカト思ヒマス

(贊成)ト呼フ者多シ

○委員長(子爵八條隆正君) ソレデハサウ云フコトニ致シマス

○政府委員(森俊六郎君) 本案ハ多年ノ懸案デゴザイマシテ既ニ内容等ニ付テハ精シク御承知アラセラレルコトト考ヘマス、別ニ詳細ニ申上ゲル必要モナイヤウニ考ヘマスデ、大體ニ付キマシテ御尋デアリマスカラ一應申上ゲテ見タイト思ヒマス、家祿及賞典祿ノコトニ付キマシテハ既ニ御承知アラセラレル通りデアリマシテ、沿革ナドヲ申上ゲル必要モナイヤウニ考ヘマスガ、明治二年ノ六月藩籍ノ奉還ガ行ハレマシテ、其十二月ニ祿制ト云フモノガ定マリマシタヤウニ承知イタシテ居リマス、明治三年九月ニナリマシテ藩制施行ニナリ、此時マデ各藩各藩家祿ノ増減等ニ付テハ自由ニヤリ來テ居リマシタモノガ中央政府ノ免ニ角、是ガ責任ニ歸シタト云フコトノ限界ニ相成ッテ居ルヤウニ承知イタシテ居リマス、次イデ明治四年ニ廢藩置縣ニ相成リマシテ同年七月ニ太政官ノ布告ガ出マシテ、祿高取調ノコトガ布告サレテ居リマスノデアリマス、明治四年七月ノ布告ニ依リマシテ祿高ヲ取調ベマシタ結果ガ今日祿高ノ臺帳ト云フモノニナツテ中央政府ニ保存サレテ居ルコトニ相成ッテ居リマス、尋デ明治六年ノ布告第三十五號ニ依リマシテ同年三月三十一日限り祿高ノ引直シヲ打止メルト云フコトノ布告ガ出テ居リマスソレカラ明治八年ノ九月布告第百三十八號ニ依リマシテ米額ヲ以テ取リ極メデアリマシタ祿ヲ、金祿ニ改メルト云フコトノ布告ガ出テ、次デ明治九年ノ布告第百八號ニ依リマシテ、金祿公債證書發行條例ナルモノガ出テ居ルノデアリマシテ、此處分ニ依リマシテ、金祿公債證書ノ下付ヲ受ケマシタ人員ハ、御手元ニ差出シマシタモノニ依ッテ御覽ヲ願ヒマス、人員ニ於テ三十一萬二千七百七十五人、此給與金額一億七千五百八十八萬八千三百三十二圓餘、是ダケノモノガ金祿公債證書ノ下付ヲ受ケマシタコトニ相成ッテ居リマス、同年ノ九月二十七日ニ布告第百二十三號ト云フモノガ出テ居リマシテ、祿高ニ關スル出願ハモウ此時ヲ以テ最終ト致シ、將來祿高ニ關スル出願ハ採用シナイト云フコトノ布告ガ出テ居ルノデアリマス、之ニ依ッテ家祿ニ關スル大體ノ結末ハ著イテ居ルト政府ニ於テハ見テ居リマス、所ガ段々議會政治ニ相成リマシテ、衆議院貴族院等ニ各種ノ祿高ニ關スル諸願ナダガ出テ參リマシタ、

明治二十九年ノ春ノ議會ト考ヘテ居リマスガ、家祿賞典祿處分法ナルモノガ衆議院ニ提案ニ相成リマシテ、種々論議ノ結果衆議院ハ通過イタシマシタ、貴族院ニ於テ成立イタサナカッタト云フヤウナコトニ相成ッテ居リマス、二十九年ノ冬ノ議會ニ於キマシテ家祿賞典祿處分法ナルモノガ兩院ヲ通過イタシマシタ、三十年法律第五十號トナツテ、家祿賞典祿ニ關スル處分法ガ發布セラレタコトニ相成ッテ居リマス、之ニ依リマシテ大藏省ニ於キマシテハ、各省カラ各種ノ智識ノアル御方ミヲ委員ニ御願ヒ致シマシテ、調査委員會ナルモノヲ設ケマシテ、慎重ニ調査イタシ、又内閣ニ於テモ慎重ナル審議ノ上ニ家祿ノ調ベ直シト云フコトガ行ハレタ譯デアリマス、多分三十八年デアッタト記憶シテ居リマスケレドモ、取調ベノ結果ガ公表ニナリ、祿高整理公債ト云フモノニ依リマシテ、家祿ノ不足ノ點デアリマス、或ハ家祿ヲ受ケナカッタモノニ給與ガ行ハレタト考ヘテ居リマス、ケレドモ當時ノ諸願人員ハ矢張り表ニシテ差上ゲデアリマシマス、二十九萬三千九百五十五人ト云フモノガ諸願人員デアリマス、諸願ノ件數十一萬六千七百六十三件ニナツテ居リマス、其中採用イタサレマシタ人員ガ三千九百六十六人、件數ニシテ百八件、給與金額ハ三十七萬四千二百九十一圓餘ト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、然ルニ此處分後ニモ矢張り各種ノ諸願ガ貴族院等ニ現ハレマシテ、二十五議會ト記憶イタシテ居リマスガ、此處分ニ付キマシテ不服ノアリマスモノニハ行政訴訟ノ規定ヲ開キタイト云フ法案ガ、衆議院ノ諸願委員長ノ發案ニ依ッテ出マシタコトニナツテ居リマス、ソレガ貴族院ヲ通過イタシマシテ、四十二年ノ法律第二十一號ト云フモノニナツテ公布サレテ居ルノデアリマス、ソレ以來此行政訴訟ノ出願ノ件數人員等ハ、茲ニ差上ゲデアリマス第三十二號ト云フモノニナツテ、出訴人員十萬九千六百四十六人、件數ニ於キマシテ五百六十五件、給與人員ガ八千三百八十六人、給與金額ハ百七十五萬九百九十二圓餘ニ相成ッテ居ルノデアリマス、之ガ家祿賞典祿ニ關シマスル現在ニ至リマスル經過ノ大要デゴザイマス、所ガ三十七議會ニ於キマシテ、此行政訴訟ノ途ヲ取ルコトヲ怠タ、或ハ取ルコトガ出來ナカッタト云フヤウナ、家祿賞典祿處分法ニ依ッテ諸願ヲ仕漏ラシタモノガアルト云フコトニ付キマシテ、ソレ等ノモノニ對スル救済方法ヲ講ジタイト云フ法案ガ出テ居リマス、政府ニ於キマシテハ前申上ゲル通り大體ニ於テ金祿公債證書發行條例ニ依リマシテ、家

祿ニ關スル處分ハ終テ居ルヤウニ考ヘマスシ、其後其引キ直シニ付テ家祿賞典祿處分ナルモノガ出テ居リマス、家祿賞典祿處分法ニ依ル處分ニ付テ不服アルモノハ、行政訴訟ノ途ニ開ケテ居リ、先ヅ大體ハ最終ノ救済方法ハ備ヘタモノデアリト云フ意味ニ於テ、政府トシテハ常ニ反對ノ意向ヲ申上ダツ、來タノデアリマスガ、段々衆議院ニ於キマシテモ多年ノ懸案デアリマスルシ、十分ニ此コトニ付テ考慮ヲ盡シテ貴ヒタイト云フコトデ、政府ニ於キマシテモ同ジヤウナ、斯様ナ問題ヲ年々繰リ返ヘスト云フコトモ大體ニ於テ好マシカラザルコトノヤウニ考ヘマスシ、又數年來主張ニテ居リマシタ事柄ト、本年ノ法案トハ幾分力内容ヲ異ニ致シテ居ル次第デアリマス、ソレハ第一條ニ於キマシテ、從來ノ法案ハ家祿賞典祿ニ關スル處分ニ不服アルモノハ、再ビ初メカラ調ヘ直シテ貴ヒタイト云フ風ノコトニ相成ル結果ニナルデアリマシテ、即チ處分法ニ依テ大藏省ガ處分ヲ致シ、或ハ行政訴訟ニ訴ヘマシテ敗訴ニナタモノ、是等ニ付キマシテ頭カラ仕直シヲシナケレバナラヌト云フコトニ相成テ居リマス、是ハ政府トシテハ際限ガナイコトデアリマスカラ、到底政府ノ堪エ得ルコトデナイノデアリマス、請願スルコトガ出來ナカッタ云フヤウナモノニ付テダケ、救済ヲ與ヘテ貴ヒタイト云フコトデ、又行政訴訟ノ敗訴ニナタモノガ再ビ行政訴訟ヲスルト云フコトニ相成テ居ラヌノデアリマス、行政訴訟ニ訴テ提起スベキ期間内ニ提起スルコトガ出來ナカッタ、或ハ提起ヲ怠ラヌト云フモノニ付テダケ、救済ヲ與ヘテ貴ヒタイト云フコトノ大體趣意ニナツテ居リマス、初メカラ家祿賞典祿ヲ調ヘ直シヲスルト云フコトノ精神デハナイノデアリマス、ソレ等ノ點ニ於テ從來ノ主張トハ餘ホド範圍ヲ異ニシテ居リマスシ、行政訴訟等ノ結果、從來給與スベカラスト認定サレタモノガ、給與スベキモノニナタモノモアリマス、ソレ等ノ間ノ不權衡ヲ救済スル意味ニ於キマシテ、ソレダケノ範圍ニ於テ再ビ請願ヲ受理シ、行政訴訟ノ途ヲ開クト云フコトハ已ムヲ得ナイコトデアラウト考ヘマス、政府ニ於キマシテモ之ヲ以テ家祿賞典祿ニ對スル最終ノ救済方法ニシタイト云フ意味ニ於テ、本案ニ同意スルコト云フコトニ相成リマシタ次第デアリマス、是ガ家祿賞典祿ニ對スル大體ノ説明デゴザイマス、沒祿ニ關スル方ノコトニ付キマシテハ、先刻モ申上ゲマス通り明治九年ニ金祿公債證書發行條例ハ施行セラレテ居ルデアリマス、大體此條例施行後ノ國事犯罪ニ依テ沒祿處分、除族處分ヲ受ケマシタモノハ、既ニ金祿公債證書ヲ受取テ居ル次第デアリマスカラ、家祿沒收、沒祿ト云フコトハ行ハレナカッタデアリマス、所ガソレ以前ニ國家犯罪ヲ犯シテ居リマス者ハ家祿

沒收處分ヲ受ケテ居ルト云フコトデアリマシテ、同ジ國家犯罪デアリマシテモ其處分ニ不權衡ヲ來スト云フコトニ相成リマシテ、ソレダケ藩制施行後金祿公債證書條例ノ發布ニ至リマス間ニ、國事犯罪ニ依テ、沒祿、處分ヲ受ケマシタ者ニ付テハ之ニ對シテ其後ニ處分ヲ受ケマシタ者トノ權衡ヲ維持スル爲ニ、一時ノ特別給與處分トシテ、其間ニ受ケテ居リマシタ祿高ニ依テ給與金ヲ與ヘルト云フコトノ法律ガ、明治二十七年ニ法律第二十號デ出マシタデアリマス、其後家祿賞典祿ニ關スル法案ノ衆議院ニ現ハレマシタ時、即チ明治二十九年ノ春ノ議會ニ於キマシテ、藩制施行、即チ明治九年デス、明治三年ノ九月カラ藩制施行前ニ處分ヲ受ケマシタ者ニ付テモ矢張り此給與金ヲ與ヘルヤウニシタイト云フコトノ改正法案ガ衆議院ニ提案ニナリマシタデアリマス、其當時ニ於キマシテ政府ハ之ニ反對ヲ致シテ居リマス、貴族院ニ於キマシテモ時日ガ無カッタ爲ニ成案ニナリマセヌ、即チ通過イタシマセヌデ成立シナカッタデアリマス、ソレカラ三十四年ト記憶イタシテ居リマスガ、又衆議院ニ改正法案ガ出マシタケレドモ、貴族院ニ於テハ全會一致ヲ以テ否決サレタト云フコトニ相成テ居リマス、唯今マデノ沿革ハ斯様ナ次第デアリマシテ、又三十七議會ニ於テモ此點ニ付テ強ク御論議ガアリマシタデアリマス、昨年ノ議會第四十議會ニ於テモ、此法案ハ論議セラレタデアリマス、明治二十七年法律第二十號ヲ提案イタシマス時ノ法案ノ提出ノ理由ヲテヨット朗讀シテ申上ゲテ見タイト思ヒマス

明治九年太政官第百八號布告實施以後ノ國事犯罪者ナルモノハ其處分祿制廢止ノ以後ニ係ルヲ以テ祿秩ヲ沒收セラレ、コトナク同布告實施以前ノ國事犯罪者ナルモノハ祿制廢止以前ニ係ルヲ以テ收祿處分ヲ受ク之レ制度ノ變更上免レサル所ナリト雖其ノ情狀憫諒スベキモノナシトセヌ依リテ是等ノ者ニ對シ臨機特別ノ處分ヲ以テ之ヲ救済セントス而シテ藩制施行以前ニ係ル國事犯罪者ニシテ收祿ノ處分ヲ受ケタルモノアルヘシト雖同制施行以前ニ在テハ祿秩ヲ與奪スルノ權限一ニ藩主ニアルヲ以テ今日ニ於テ之カ處分ヲ問フヘキモノニ非サルノミナラス還テ之ヲ推究スルノ途無キナリト云フコトニナツテ居リマシテ、即チ藩制施行後ノ祿高ニ依リマシテ、一時ノ給與金ヲ與ヘルト云フコトニナツテ居ルデアリマス、所ガ之ニ關スル改正案ハ先刻モ申上ゲマシタ通り、其以前ノ祿制ヲ基礎トシテ給與處分ヲシテ貴ヒタイト云フコトニ相成テ居ルデアリマスガ、此點ハ理由書ニモ明カデアリマス、併ナガラ藩制施行以前ニ於キマシテハ祿高ニ關スル

給與、或ハ與奪ノ權ハ全部各藩ニアツタデアリマス、中央政府ノ權限ニ移テ居リマセヌ時デアリマス、其時ニマデ溯テ處分ヲ致スト云フコトハ、政府ニ於テ到底同意スルコトガ出來ナイト云フコトデアリマシタ、又政府ノ見ル所デハ國事犯罪ニ依テ處分ヲ受ケマシタ者ガ復族、即チ土族ニ復族イタシマシタカラト云フテ、直チニ復祿ト云フ問題ハ生ズベキモノデアリ、復族ト復祿ハ別處分デアリト云フコトニ考ヘテ居リマスデアリマシテ、行政裁判所ニ於キマシテモ同ジ見解ヲ有テ居リマスデアリマス、ソコデ從來ノ法案ニハ反對イタシ來テ居リマシタデアリマスガ、此度ノ法案ハ其點ニ付餘ホド從前ニ異テ居ルデアリマス、衆議院ニ於キマシテモ、大體復族ニナツタ者ガ直チニ復祿デアリト從來主張シタコトハ主張シナイ、唯其ノ基準トナツテ居リマスル祿制ノ取調ヘニ不十分ナ點ガアル、他ノ者ト權衡ヲ得ナイト云フ點ヲ救済スル意味ニ於キマシテハ政府ニ於テモ不權衡デアリマス點ヲ救済スル意味ニ於テ家祿賞典祿ノ處分法ヲ準用イタス、ソレニ依テ祿高整理公債ナルモノガ出テ居リマスノデ、祿高整理公債ニ依テ不足分ヲ補給ヲ致スト云フコトニ同意ヲ致シマス今申上ゲルヤウナ大體家祿賞典祿トノ不權衡ノ點ヲ救済シナト云フ意味ヲ以テマシテ、同ジヤウナ精神デ此法案ニ同意ヲ致スト云フコトニ致シタ次第デアリマス、大體ノ經過ハ斯様ナ次第デアリマス、尙ホ御質問ニ依リマシテ御答ヘ致シマス

○委員長(子爵八條隆正君) チヨット申上ゲマスガ、議事ノ進行上、先ヅ第一案タル家祿賞典祿ノ方ノ案ニ付テ御質問ヲ願ヒマシテ、ソレダケ、一段落ヲ告ケタ時ニ、次ノ沒祿ノ處分ノ方ニ移ル、斯ウ云フコトニ致シマシテ、最後ニ更ニ兩案ニ付キマシテ質問ノ漏レタ所ガアリマスレバ、御質問ニナル、斯ウ云フコトニシタイト存ジマスカラドウカ其御含ミデ御質問ヲ願ヒマス

○磯部四郎君 唯今家祿賞典祿ノ御説明ヲ得マシタガ、之ヲ要シマスルニ三十一一年ノ法律ニ依テ出願シナカッタ者ハ新テ本法ニ依テ出願スルコトガ出來ル、又第二ニハ三十一一年中ニ出願シタケレドモ、大藏大臣ヨリ却下セラレタ儘行政訴訟ヲ起サナカッタ者、並ニ四十二年ノ法律ニ依テ行政訴訟ヲ提起シナカッタ者、本法ニ依リ新テ行政訴訟ヲ或ル期限内ニ起スコトヲ許ス、是ダケノ趣意デゴザイマセウナ

○政府委員(森俊六郎君) 大體サウ云フコトニ相成テ居リマス

○委員長(子爵八條隆正君) チヨット伺ヒマスガ、此法案

ニ依テ出願スルデアラウト豫想シ得ベキ人員ハ、此表デ見
マスト云フト第一ノ金祿公債處分受ケタル人員、即チ三
十一萬餘カラ三十年ノ法律五十號ニ依テ出願シタル人員
二十九萬餘引イタモノガ、今回大藏省ニ出願シ得ルコト
ナル、サウシテ其人員ト更ニ第二ノ五十號ノ法律ニ依テ
出願シテ不採用ニナタ二十九萬餘ノ人員カラ、既ニ四十
二年ノ二十一號ノ法律ニ依テ行政訴訟ニ出タト云フ者
トノ差ト云フモノガ出テ來ル譯ニナリマス

○政府委員(森俊六郎君) 大體ニ於キマシテハ詰リ委員
長ノ仰セノ通りデアラウト思ヒマスガ、此中ニハ全體金祿公
債證書ノ處分受ケタ者ガ、全部三十年法律第五十號ニ
依テ申請願ヲ致シテ居ラヌト云フコトニ此表ニ於テハナ
居リマス、此申請シタ二十九萬人餘ノ人ガ全部行政訴訟
ヲ起シテハ居ラス、即チ十萬人ハ起シテ居ルコトニ
ナデ居リマスカラ、是等ノ落チコボレノ人ガ全部出テ來
ウトハ考ヘテ居リマセヌ、多少ハ從來矢張り斯様ナ率ニ依
テ減ジテ居リマスカラ、恐ラク同ジヤウナ程度ニ幾分人ガ減
ズルコトダラウト思ヒマスケレドモ、併シ大體ニ於キマシテ委
員長ノ仰セラレマス通り金祿公債證書ノ處分受ケタ者
ノ内、諸願ヲシナカタ者ガ諸願ヲシテ來ルト云フコトニ相
成ル、又諸願ヲ致シマシタ者ノ内行政訴訟ニ出ナカタ者
ガ出テ來ルト云フコトニ相成ラウト考ヘテ居リマス

○委員長(子爵八條隆正君) ソレハ不足額給與ノ方デ
アデ、金額給與ヲ願ヒタイト云フ分ハ殆ド見當ガ附キマセヌ
ナ、詰リ金祿公債處分ノ時ニ全部公債ヲ受ケナカタ者ト
云フモノハ、殆ド見當ガ附カナイ譯デスナ

○政府委員(森俊六郎君) 是モ今日ノ所ニ於テハサウ多
數ハアルマイト考ヘテ居リマス、唯今ノ所デハ舊斗南藩ノ一
部ガ斯様ナ者ニ當ラウト考ヘマス、是モ人員等ハ確カニ
ドウアラウト云フ豫想ハ出來マセヌデアリマスケレドモ、先ジ
大體ニ於テ大藏省ノ取調ヲ想像ヲ多少加ヘテ多少推想
致シマシタモノデアリマス、新タニ出マス者ガ二千七百人位
アルデアラウト云フ考デアリマス

○男爵本田親濟君 チヨット今ノ二千七百人ト云フコト
ニ付テ伺ヒタイトデスガ、二千七百人ニ對スル公債ノ高ガ
凡ソドノ位アリマスカ

○政府委員(森俊六郎君) 一人、三百三十七圓五十錢
ト云フコトニナテ居リマス

○男爵本田親濟君 サウスルト之ヲ乘ズレバ總高ガ出ル
ト云フ譯デアリマスカ

テ仕舞フト云フヤウナコトガ見エテ居ルヤウデアリマスガ、
以前ノ……去年即チ第四十議會ノ衆議院ノ提出シマシタ
此法律ノ期限ト云フモノハ、法律ニ書イテゴザイマス期限ト
云フモノハ、大正七年十二月三十一日マデトアル、本年ハ
更ニ大正八年十二月三十一日マデト云フ、即チ一年ダケ
延ビタコトニナデ居リマス、此期限内ニ何等カノ故障ヲ以
テ願出ルコトガ出來ナカタ者ハ、矢張り以前通り二期限ノ
切レタモノデアリマス、其權利ハ失シタモノデアルト云フコト
ヲ政府ニ於テ御認メニナル譯デアリマセウカ、ドウ云フヤウナ
コトニナリマスカ

○政府委員(森俊六郎君) 昨年ノ法案ノ出マシタ時分
ニハ、昨年ノ三四月ノ交ヲ以テ法律ガ公布ニナルト云フ豫
想ヲ有チマシタカラ大正七年十二月末日ト云フコトニナ
テ居リマス、今年ノ法律ハ、多分通過イタシマスレバ八年ノ
三四月ノ交ヲ以テ公布ニナルデアリマスカラ、八年ノ一
ハ出願ガ出來ルト云フコトニナテ居ル譯デアリマス、此十
二月末日マデニ出願ヲ致シマセヌケレバ、出願イタシマス所
ノ權利ヲ失フト云フコトニナラウト考ヘテ居リマス、矢張り
出願ノ出來ヌト云フコトニ從來ノ通り相成ルコトト考ヘテ
居リマス

○委員長(子爵八條隆正君) 祿高整理公債ヲ以テ御交
付ニナル其願ハ全ク御見當ガ付カナイト云フ譯デアリマセ
ウカ、若シモ付カナイトスレバ出願ヲ御調査ニナテ、交付ス
ベキモノト認メラレタルモノハ順次、其額ハ豫定セズシテ公
債ヲ御發行ニナルト云フヤウナコトニ相成ルデアリマセウ
カ、ソレカラ公債ヲ以テ交付シテ、其端數ハ現金ヲ以テ無論
御交付ニナルデアリマセウカ、サウスルト其端數ニ對スル
金額ハドウ云フ風ニシテ御支出ニナルデアリマスカ、或ハ
豫算ヲ此際御請求ニナルカ、或ハ豫備金支出ニデモ御依リ
ニナルカ、其點ヲ伺ヒタイト、ソレカラ此二案ガ通過シマス
レバ、此調査機關ヲ御造リニナルトカ、或ハ現ニ在ル大藏省
ノ秩祿課ニ若干ノ増員ヲナサルトカト云フヤウナ點ニ付キ
マシテ、サウ云フ豫算ハ直チニ追加豫算ヲ以テ御提出ニナル
デアリマスカ、其點ヲ伺ヒテ置キマス

○政府委員(森俊六郎君) 此二ツノ法案ガ成立イタシマ
シタ曉ニ、ドレダケノ給付金額ニ相成ルコト云フコトニ付キ
マシテハ、實ハ的確ナ數字ヲ推算イタスコトハ甚ダ困難デア
リマス、先刻モ申上ケマシタ通り、金祿公債證書ノ下付ヲ
受ケタ者ガ全部諸願ヲ致シテ居リマセズ、諸願イタシタ者
ハ全部出訴ヲ致シテ居ラスデアリマス、是等ノコトハ從來
ノ割合位ニ矢張り今回モ出ルモノデアラウト云フコトノ大
體ノ見込ヲ付ケマシテ、斯様ナ次第デアリマスカラ先刻御
答イタシマシタ如ク、斗南藩ニ對スル給與額ノ如キモ二千

七百人ト申上ゲマシタケレドモ、此中種々ノ事情ニ依ッテ、
或ハ出テ來ナイ者モ多數アルダラウト考ヘマス、ソレ等ノ者
ヲ先ジ從來ノ割合通りニ出テ來ルモノト云フヤウナ推定ヲ
致シマシテ、大ザッパナ計數ヲ推算イタシマス、兩法案ニ付
テ彼レニ二百二十萬圓……二百五十萬圓内外位ノ所
デハナイカト考ヘテ居リマスデアリマス、是ハ御承知モゴザ
イマスル通り、祿高整理公債ナルモノハ千萬圓マデ出セルコ
トト相成ッテ居ルデアリマシテ、今日既ニ出テ居リマスモノ
ハ、彼レニ二百萬内外デアリマスルカラ、其方ノ發行權ヲ
以テ地方ノ給與ニ充テタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ豫算
ヲドウ云フコトニスルコト云フ御尋デアリマスガ、是ハ此前ノ
例ニ依リマスレバ、明治三十年ノ法律ニ依ッテ諸願ヲ致シマ
シタモノヲ、大藏省ニ於キマシテハ調査委員等ヲ設ケマシテ
十分ニ調査ヲ致シ、内閣ノ決定ヲ仰イデ發表イタシマシタ
ケレドモ、三十八年ト記憶イタシテ居リマス、斯様ナ次第デ
アリマシテ、今回ノ此諸願ニ付キマシテモ……給與ヲ致
スト云フコトノ方法ヲ採リマスカ、又ハ二三年間調査ヲ致
シマシテ、發表ヲ成ルベク取纏メテ發表スルト云フコトニ致
シマスカ、ソレハ今日未ダ決定ハ致シマセヌデアリマスケレド
モ、恐ラク此新シイ諸願ノ方ニ付キマシテハ、或ル程度マデ
取纏メテ發表イタシタイト考ヘテ居リマス、サウ致シマス
其時ノ公債端數ノ給與等ニ付キマシテハ議會ノ協賛ヲ仰
イデ豫算ヲ取リマス方ガ宜カラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ
行政訴訟ノ方ノ給與ニ付キマシテハ、是ハ時々判決ガアル
ノデ之ヲ一纏メニ纏メルト云フコトハ困難デアリマス、
今日ノ實際ニ於キマシテハ、豫備金支出ヲ仰イデ其時ニ端
金ヲ給與イタシテ居リマス、併ナガラ議會開會中デアリマス
レバ、開會前ニ判決ニナリマシタモノデ、議會ノ御協賛ヲ仰
ケラコトガ出來マス金高ニ付キマシテハ、今日ニ於テモ其分ダ
ケヲ取纏メテ議會ノ御協賛ヲ仰イデ居ル次第デアリマス
ラ、矢張り將來モ同ジヤウナ方法ガ多分實行イタスコトニ
相成ラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ調査機關其他ノ人件
費ノコトニ關係イタシマシテハ、此前ハ諸願ヲ受理イタシマ
シテ、政府ノ決定ト云フモノハ最終ノ決定ニ相成ルト云フ
コトデアリマス、極ク鄭重ニ調査委員會等ヲ設ケラレタ次
第デアリマスガ、今回ハ餘ホド其事務ニ付テ行政裁判ノ結
果ナドモアリマスルシ、大抵前ニ解決セラレタル前例ナドモ
出來テ居ルモノガ多少アリマスデアリマス、其調査機關等
ニ付キマシテハ、大藏省ノ内クライニ何等カノ規模ノ委員ノヤ
ウナモノヲ設ケマシテ、諸願ニ對スル處分ヲ致シテハドウカト
云フ風ニ考ヘテ居リマスデアリマス、サウ致シマシテ現在ノ
秩祿課ニ數名ノ増員ヲ致シテ、ソレニ依ッテ諸願ノ取調ヲ
致シタイト思ヒマス、左様ニ相成リマスレバ大藏省ノ定員ノ

增加ニ關スル御協賛ヲ仰ギタイト考ヘテ居リマス、行政訴訟ノ方ニ付キマシテハ是ハ急ニ總テ來ルモノデモアリマセスカラ、大體今日ノ設備ヲ以テ之ニ應ジ得ルコト考ヘテ居リマス

○委員長(子爵八條隆正君) 如何デアリマスカ

○磯部四郎君 私人質問アリマセヌ

○委員長(子爵八條隆正君) ソレデハ家祿賞典處分ニ付テ御質問ガアリマスレバ又アトニ廻ハスコトニ致シマシテ是ヨリ第二ノ沒祿處分ノ方ニ移リマス

○磯部四郎君 此沒祿處分ノコトニ付テ此案ノ上ニ見エマセヌケレドモ無論國事犯者ニシテ大赦等ニ依テ復權ヲ得タモノニ限ルノデゴザイマセウネ

○政府委員(森俊六郎君) 大體左様ニ相成リマス

○磯部四郎君 チヨット唯今大體ト云フ御話デアリマスガ、ソレ以外ノモノモアルデアリマセウカ

○政府委員(森俊六郎君) 全部サウ云フ風ナモノニ限ルノデアリマス

○松室致君 今ノ大赦ト云フコトハ此法律ノ上デハ見エナイヤウデスネ、ドッカン現ハレテ居ル所ガアリマスガ、事實ハ大概大赦ニナッテ居ラウト思ヒマスガ、ソレ以外ノモノデ無イトモ限リマセヌ漏レテ居ルモノモアルカモ知レマセヌ

○政府委員(森俊六郎君) 此第二條ニ依リマシテ「六箇月以内ニ其理由及證據ヲ具シ」ト云フコトニナッテ居リマシテ、證據ト云フモノヲ提出イタシマスルカラ、其證據書類ニ依ッテ大赦處分ニナッタモノデアルト云フコトガ分ラウト思ヒマス

○松室致君 サウ云フコトニナッテ居ルカモ知レマセヌガ、證據ト云フコトハ家祿賞典處分ノ方ニモ矢張りアリマス、同ジ文デアリマスカラ強チ大赦ト云フコトニ...

(速記中止)

○政府委員(森俊六郎君) 此沒祿ノ處分ヲ受ケタル者ニ對シテ支給金ヲ交付イタシタト云フ例ハ總テ國事犯罪デアリマシテ大赦ノ恩命ニ浴シタ者ニ限ルト云フコトニナッテ居ル譯デアリマシテ、ソレハ明治二十二年二月ノ勅令第十二號ニ依ッテ大赦令ガ出テ居リマス、其大赦令ノ中ニ大赦ニナルベキ犯罪ノ種類ガ列記シテアリマス、ソレニ依テ大赦ノ恩命ヲ蒙ッタ者ニ付テダケ此法律ガ適用ニナル譯デ、ソレ等ノ證據書類ヲ具シテ出願セヨトナッテ居リマス、ソレ等ノ精神カラ致シマシテ大赦ノ處分ヲ受ケタル者ニ限ルトハ明カデアルト思ヒマス

○松室致君 能ク分リマシタ、此證據書類ト云フノデアリマスガ、是ハ確カ大審院デ皆大赦ノ恩命ニ浴シタ者ニ證明書ヲ與ヘタヤウナコトヲ記憶シテ居リマスガ、ソナナ物ガ矢

張り證據書類ニナルモノデアリマスガ、ドウ云フモノデアリマセウ

○政府委員(森俊六郎君) 矢張り左様ナモノガ證據書類ニナルト存シマス

○松室致君 ソレニ限リマスガ、此外ニ證據書類ニナルモノガアリマスガ

○政府委員(森俊六郎君) 大藏省ニ備ヘテアリマス祿高臺帳ニ載ッテ居リマス、明カニ其所ニアリマス者ハ臺帳ニ依ッテ處分スルコトガアルノデアリマス、併シソレデ判キリシナイ者ハ能ク府縣廳ニ照會シテ府縣ノ舊記トカ古老ノ記憶トカ又或點ニ付テハ其當時ノ官職ニ在ッタ者ノ證明書ヲ取ッテ、彼是參酌イタシテ決定シテ居ル次第デアリマス

○磯部四郎君 私人質問アリマセヌ

○委員長(子爵八條隆正君) チヨット伺ヒマスガ二十七年ノ法律第二十號ニ依ッテ一時給與金ヲ下付サレタダケハ公積證書ヲ以テセズニ現金ヲ以テ下付サレタモノトナッテ居リマスガ

○政府委員(森俊六郎君) 其通りデ其人員ハ六百十一人デアリマシテ金高ハ五十五万三千六百九十圓七十九錢八厘ト云フコトニ相成ッテ居リマス

○男爵本田親濟君 唯今ノ證據書類ガ完備シナケレバ沒祿ニ對シテ給與ノ御處分ガ出來カネルヤウニ伺ッテ居リマスガ、此斗南藩士若クハ仙臺藩士ト云フ者ハ諸所ニ澤山出來テ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、其者等ハ、其委員ノ者等カラ提出イタシマシタ書類ヲ見マスト云フト、維新前後ニ於テハ勿々ノ際デ證據書類ト云フモノガ完備シテ居ラヌシ、又全ク無クシテ其恩典ニ與カルコトガ出來ナイト云フコトガ昔イテゴザイマスガ、ソレ等ノ處分ハ全ク出願シテモ其法律ハドウ致シマシテモ證據ノ無イコトデアリマスカラ極ク薄弱デゴザイマセウケレドモ、大藏省ノ臺帳ニ載ッテ居ル所ノ人名表トデモ云ヒマスガ、其人名ニ引合セテ御給與ニナル譯デアリマスガ、何所ニデモ出願シテモ其證據書類ト云フモノガ完備シナケレバ給與スルコトハ出來ナイコトニナッテ居リマスガ...

○政府委員(森俊六郎君) 明治二十七年法律第二十號ニ依ッテ其恩典ニ浴シタ者モ數十名アル、其中仙臺藩士ノ氏家番、又未永總之丞ト云フ者等ノ遺族ニ對シテハ御給與ニナッタガ、其他同ジヤウナ犯罪ノ者等ニ對シテハ往々給與漏ガアルト云フコトモ附加ヘテアルヤウデアリマス、ソレ等ハドウ云フ次第デ左様ニ區々ニナッテ居リマスガ、ソレ等ノ御説明ヲ併セテ御願ヒ致シタイノデゴザイマス

○政府委員(森俊六郎君) 大體此家祿ニ關シマス書類ト致シマシテハ今日大藏省ニ殘ッテ居ル祿高臺帳ガ一番ノ

根據ヲ爲シテ居ル、今日證據ニ相成ッテ居ルノデアリマス、其祿高臺帳ノ極ク明瞭ナモノハソレダケニ依ッテ處分ヲ致シテ居ルノデアリマス、其臺帳ニ甚ダ明瞭ヲ關クト云フ點ガアルト云フコトニナリマスレバ、必ス直接ニ府縣ニ或ハ出張ヲ致シテ居ルコトモアリマス、又府縣ノ舊記ヲ提出シ或ハ其土地ニ於ケル古老ノ證明ヲ取リマス、或ハ古老ノ家ヲ尋ネテ其當時ノ模樣ヲ聞キマス、各種ノ方法ヲ取リマシテ大藏省ト致シマシテ今日ニ於テ出來ルデガ方法ハ講ジテ處分イタシテ居ル次第デアリマス、併ナガラ御承知ノ通り既ニ五十年以上モ經テ居ルコトデアリマス、古老ト申シマシテモ其當時僅ニ役人ノ一部ニ加ハッテ居ッタカ、或ハ其時ハ役人ノ端ニ居ッタト云フ者デ、證據書類ノ蒐集ニ付テハ非常ニ困難ヲ感ジマス、是等ハ政府トシテ此從來家祿ニ關シマス改正家祿案等ニ御同意イタシ兼ネテ居リマス一ノ理由ニナッテ居ルノデアリマス、併ナガラ當時證據書類ヲ蒐集イタシマシテ當時ノ事情ニ出來得ルデケハ接近シタ處分ヲ致シタイト云フ考ヲ以テ政府ト致シマシテハ處分ヲ致シテ居ル次第デアリマス、仙臺藩ノコトニ付テハ御尋ネハ私ハ能ク内容ヲ存ジマセヌデアリマスガ、承ル所ニ依リマスレバ三十何名カ國事犯罪ニ依リ處分ヲ致サレマシタ人ノ中、何處カ北海道トカ樺太ト云フヤウナ所ヘ隠レテ居リマシテ、在跡ガ分ラヌ爲ニ二人ダケハ藩制施行後ニ收祿處分ヲ受ケタト云フコトデ、他ノ三十何名ノ人ハ藩制施行前ニ沒祿ノ處分ヲ受ケテ居ルノデアリマス、是ハ恐ラク事柄自體ハ同ジ事柄デアルト考ヘマス、犯罪自體ハ同ジ事柄デアルト思ヒマスケレドモ、多數ノ人ガ藩制施行前、明治三年ノ藩制施行前ニ沒祿處分ヲ受ケタノデアリマス、即チ藩制施行前ニ沒祿ヲ持タナクナッテ云フコトニ相成リマス、ソレカラ二人ノ殘リマシタ人ハ藩制施行後ニ沒祿處分ヲ受ケマシタノデアリマス、藩制施行ノ時ニ沒祿ヲ持ッテ居ッタコトニドウシテモ法律ノ解釋ガナルノデアリマス、ソレゾレ等ノ人ノ藩制施行、後ノ收祿デアリマスカラ此藩制施行後ノ祿高ニ依ッテ給與金ヲ受ケタト云フコトニナリマス、其間ノ事柄ハ大小ガアリマスガ、是ハ制度ノ結果已ムヲ得ナイ不權衡ヲ生ジテ居ル譯デアリマス

○委員長(子爵八條隆正君) 此二十七年法律第二十號ニ依レバ一時ノ給與金ヲ支給スル範圍ガ明治三年ノ藩政施行後カラ金祿公債處分迄、斯ウ云フ風ニ限定サレテアルノデアリマスカラシテ問題ニハナラヌノデアリマスガ、仙臺藩ノ人ノ云フ所ヲ聞キマス、今御話ノ通り三十幾名ノ中ニ名バカリハ救済セラレタ、多數ノ者ハ藩政施行前ノ處分デアリガ故ニ救済ヲ受ケナク、甚ダ不公平デアルト云フコトデアリマス、サウシテ此法律ニ藩制施行前ト後トニ

依ッテ區別シテアル、先程御質問ノフタ通りニ其以前ニ於テハ各藩ニ於テ生殺與奪ノ權ガアツタカラ政府ハ直接ニ關與スルコトデハナカッタカラシテ、其處ヲ以テ打切リシタト云フコトガ一ノ理由ニナッテ居ルノデアリマスガ、仙臺藩士ノ話ヲ聞キマスルト云フト、其當時ニ於テ仙臺藩ノ三十幾名ガ處分ヲ受ケタノハ是ハ藩主カラ處分サレタノデハナクシテ太政官カラ處分セラレタノデアル、其事ハ太政官ノ日記ヲ見レバ明カデアル、而シテ其日記ハ政府ノ方ニモアルシ、又縣廳ノ方ニモアル、是ガ決シテ其藩主ノ處分ナイト云フコトハ事實明カデアル、シテ見レバ矢張り中央政府直接ノ處分デアレバ其ニ救済セラレノ權衡ヲ得タモノデアルト云フヤウナコトヲ云ヒマスルガ、サウ云フ事實ハ政府ハ明カニ分ラヌモノデアリマスガ

○政府委員(森俊六郎君) 其沒祿ノ處分ニ付キマシテ處分ガ何處ノ處分デアッタカト云フコトニ付テハ今日明カニ私共ハ承知イタシマセヌガ、此沒祿ニ對スル一時給與金ヲ給付スルト云フコトノ趣意ハ藩制施行前ノ者ニ於キマシテハ中央政府ノ……祿高其モノニ付テ中央政府ノ權限ニ移ラヌ當時ノコトデアラカラ、ソレニ對シテ中央政府ガ救済イタスコトハ如何デアラウカト云フ精神カラ出テ居ルノデアリマスノデ、縱令其沒祿ノ處分ガソレ以前ニ中央政府ニ依ッテ行ハレタト致シマシテモ、標準ト致シマスル祿高ノ分界點トハ少シ問題ガ違フモノハナイカト思フノデアリマス、何處ノ處分ヲ受ケマシテモ祿其モノガ中央政府ノ權限前ノモノデアラカラ、今日中央政府ガソレニ給與ヲ與ヘルト云フコトガ精神上下ウアラウカト云フ考カラ來テ居ルノデアリマスガ、其沒祿處分ガ誰ニ依ッテ行ハレタト云フコトハ問題トハ切離シテ考フベキコトデハナイカト私共ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ其處分ガ藩ニ依リ行ハレタカ、中央政府ニ依リ行ハレタカト云フコトダケハ分ルダケ取調ベマシテ申上ゲルコトニ致シマス

○男爵本田親濟君 唯今仙臺藩ノコトニ付テ委員長カラ御尋ネガゴザイマシタガ、此斗南藩、即チ舊會津藩ノ者ハ其當時北海道邊リニ移住シテ居タ者ガ五百戸トカ二百十戸トカ云フヤウナ多數ニ上ッテ居ルヤウデゴザイマスガ、是等モ矢張り藩制施行前ニ拘ハデ居ル人ニデアル、故ニ給與シテ恩典ヲ與ヘルコトガ出來ナカッタト云フ風ニ見テ差支ナイノデゴザイマスガ、尤モ此五百戸トカ二百十戸トカ云フコトハ今ノ會津藩ノ先程申上ゲマシタ通り委員會會トカ、斗南藩金祿公債請願委員トカ云フヤウナモノニ依ッテ云ハレテ居ルノデアリマスガ、其數ハ餘リニ多數デアルト思ヒマスガ、此多數ニ拘ラス矢張り藩制施行前ノモノニ係ル故ニ其恩典ヲ與ヘルコトガ出來ナカッタノデアリマセウガ、

如何デアリマスカ

○政府委員(森俊六郎君) 斗南藩ノコトニ付テノ御尋ネハチヨット私ハ十分承知イタシマセヌガ、先頃新タナル行政裁判所ノ判決ニ依リマシテ斗南藩全體ガ祿高公債ノ給與ヲ受クルコトニナッタラウト思ヒマス、其中今度ノ新シイ行政訴訟ニ依テ祿制ガアルト云フコトニ解釋ガ相成リマシタ結果請願ヲ致シタ、行政裁判所ニ出訴シタ人ダケガ今度初メテ祿高整理公債ヲ受ケタト云フコトニ相成ルノデアリマシテ、即チ出願洩レデアッタ人ガ三十年ノ法律第五十號ニ依リマシテ行政訴訟ニ出訴シテ、之ニ依ッテ救済ヲ受ケルト云フコトニ相成ル次第ト考ヘテ居リマス、斯様ナル次第デアリマスカラ、行政訴訟ヲ致シマセヌデモ、三十年法律五十號ニ依ッテ出願ヲシナイ者モ多クアルノデアリマスガ、ソレ等ノ者ハ今度ノ改正案ニ依リマシテ始メテ救済ヲ受ケルト云フコトニ相成ル次第デアリマスガ、如何デアゴザイマスガ、御質問ハ……

「モウゴザイマセヌ」ト呼フモノアリ

○男爵本田親濟君 大體ニ於テ政府委員ノ御説明デ略、解リマシデゴザイマスガ、別段質問ハゴザイマセヌガ、尙ホ此事、即チ家祿賞典祿ニ關スル法律案、並沒祿處分ヲ受ケタル者ニ對スル給與處分ニ對スル法律案、此兩方ニ付テ研究スル餘地ガアリハ、シナイカト思ヒマスルデ、今日ハ私ハ御質問申上ゲルコトハ是ダケニ止メテ置キタイト思ヒマス

○委員長(子爵八條隆正君) チヨットモウ一ツ簡單ナコトデ伺ヒタイデスガ、家祿賞典祿ノ方デアリマスガ、明治初年ノ政府ノ祿ニ關スル處分ニ往々錯誤ガアッタト云フノデ、大變今日ニマデ禍ヲ遺シタノデアリマスガ、其錯誤ト云フノハ一體ドウ云フ點ニ在リマシタノデアリマスガ、兎ニ角明治三年以後九年ノ公債處分マデニ今ノ大體ニ於ケル沿革ノ御説明デアリマシタガ、其他細カイモノハ非常ニ澤山アルヤウデアリマスガ、ドノ點ニ政府ノ處分ニ錯誤ガアッタノデアリマセウカ、詰リ藩制ヲ施行セラレタ時ニ政府ガ各藩ノ祿高ヲ引繼イダ、其引繼ノ時ニ錯誤ガアッタノデアリマセウカ、寧ロ其時ニモアッタデアリマセウカ、其後ニ米祿ヲ金高ニ換ヘルトカ、金祿公債處分ヨスルトカ、又家祿ノ奉還ヲ處分シタ時ニ秩祿公債交付、其他サウ云フ機會ハ多クヤウデアリマスガ、今日問題トナッテ居ル所謂政府ノ錯誤ナルモノハドノ處分ノ時ニ於テ行ハレタノデアリマスガ、今マデノ前ノ出願ニ對スル御調査ノ時ニ完了シテ居ルノデアリマセウカ

○政府委員(森俊六郎君) 洵ニ廣汎ナル長イ間ノ處分デアリマスカラ、ドウ云フ際ニドウ云フ誤リガ一般的ニアッタ

ト云フコトハナイヤウデアリマス、矢張り米祿デアッタモノヲ金祿ニ更ヘマストカ、或ハ其變リ目變リ目ノ祿ノ此換算等ニ付キマシタリ、或ハ其何ト云ヒマスガ、藩債ノ償還デアルトカ云フヤウコトニ種々様々制度ガ各藩ニアリマシタモノデアリマスガ、自ラ其間ニ統一イタシマシテモ、事情ノ不明ノ點ガアリマシタリ、何カシテ、總テノ人ノ十分満足スルダケノ處分ガ出來ナカッタト云フコトガ種々アラウト思ヒマス、戶籍等ニ付テ戶籍ノ錯誤等モアリマシタリシテ、個人個人ニ付テ不權衡ヲ來タシタト云フヤウナコトモアルヤウデアリマス、爲ニドノ處分ガドウト云フコトハ、取立テテ申上ゲルコトハ出來ナイヤウニ考ヘテ居リマス、又政府ニ於キマシテハ大體此三十年ノ五十號ニ依ッテ處分ヲ致シマス時デモ、餘程鄭重ニ各種ノ手續ヲ取リマシタノデアリマスデ、政府ノ解釋ガ、決シテ其時ノ處分ガ間違ッテ居タト云フコトハ政府ニ於テモ、今日ニ於テモ考ヘテ居ラヌノデアリマス、是等ノコトハ解釋ニ依ルコトデアリマシテ、政府ノ見解ト云フモノト、今日行政裁判所ニ於ケル解釋トハ幾分解釋者ノ頭ニ依ッテ違ヒヲ來タスト云フコトハアルノデアリマス、即チ政府ノ見解ト致シテ政府ノ處分ニ錯誤ガアッタト考ヘテ居ル次第デアリマス、從デ三十年法律五十號ニ依ッテ調べ直シヲ致シマシタ結果、交付ニナリマシタ金高ハドウモ至ッテ輕微ナモノデアリマシテ、政府ノ最初ノ處分ニ錯誤ガアッタト云フコトニハ見エテ居リマセヌノデアリマス、併ナガラ各藩ニ互リマシタ隨分複雑シタル制度デアリマスカラ、個人個人ノ處分ニ付テハ全部完備デアッタト云フコトハ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、其間ニ誤ガアリマシレバ行政訴訟其他ノ方法ニ依ッテ救済ヲ與ヘルト云フコトハ已ムヲ得ヌコトデアルト云フノデ、今日衆議院ノ提案ニ同意ヲ致シテ居ル次第デ、政府ノ處分ガエライ間違ガアッタヤウナ意味ニ於テ政府ニ於テハ取ッテ居リマセヌノデアリマス、併ナガラ行政裁判ノ結果解釋ニ依ッテ多少解釋上ノ相違ヲ來タスト云フコトハ已ムヲ得ヌコトト思ヒマス、是等ノコトニ御承知ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

○委員長(子爵八條隆正君) 尙ホ一點伺ヒタイノデアリマスガ、此明治三年カラ九年マデノ間ニ度々其祿高訂正ノ出願ガアッタ、其結果六年ノ布告第三十號ヲ以テ一旦同年三月三十一日マデニ出願セザルモノハ爾後引直シハヤラナイト云フ布告ガ出マシタニ拘ラズ、依然トシテ政府ノ方デハ引續イテ出願ガアレバ御採用ニナッテ居タ、而シテ明治九年ノ百二十三號ノ布告ニ依ッテモウ全然打切リニナッタト云フコトデアリマスガ、續イテ明治三十年ノ法律、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、是ハ警察所同一人ガ幾度モ一旦政府ノ方デ訂正ヲサレタニ拘ラズ、又

ゾロ出願ヲスルト云フヤウナコトデハナクシテ、一旦政府ガ訂正ニナシタモノハ其後ハ再ビ出シテ居ナイト云フヤウナ譯デアリマス。

○政府委員(森俊六郎君) 今日衆議院及貴族院等ニ見エマス諸願等ニ付キマシテモ、諸願ノ種類ニ依ッテ隨分區々デアリマシテ、大部分ハ此二ツノ法律ニ依ッテ救済ヲ受ケ得ル範圍ニ屬スルモノガ多イヤウニ考ヘマス、即チ三十年ノ五十號ニ依ッテ出願シナカッタモノガ、出願ヲスル途ヲ開イテ貰ヒタイ、又四十二年法律第二十一號ニ依リマシテ行政訴訟ノ期間内ニ行政訴訟ヲ得ナカッタ者ガ、シ得ル途ヲ開イテ貰ヒタイト云フヤウナモノガ重ナル部分デアリマス。ケレドモ、併シ此諸願者ノ中ニハ隨分頑冥ナ人モ多イノデアリマシテ、三十年ノ法律ニ依ッテ諸願ヲシテ、政府ノ處分トシテ却下セラレタ、四十二年ノ法律ニ依ッテ行政訴訟ヲシテ敗訴ニ歸シタ、ソレデモ尙ホ祿高ヲ與ヘテ貰ヒタイト云フヤウナ諸願ヲシテ居ル向キモ少クナイノデアリマス、併ナガラ是ハ政府ト致シマシテハ、ドウシテモ救済ノ途ハナイト考ヘマス。ノデ、將來斯様ナル諸願ハ實ハ出來ナイヤウニ相成ルコトヲ希望イタシテ居ルノデアリマシテ、即チ此二ツノ方法ヲ以テ家祿賞典祿ニ關スル最終ノ救済方法ト致シタイ此後繰返シテ祿ノ調ベ直シヲスルトカ仕直シヲスルト云フヤウナ諸願ノ出ナイヤウニ致シタイト云フ意味合ヲ以テマシテ此二ツノ法案ニ同意致シタ次第デアリマス、度々政府ノ處分ヲ受ケ、又裁判所ノ手續ヲシテ全部敗訴ニナリ、尙ホ此諸願ノ出マスコトハ甚ダ私ノ方トシテハ奇怪ニ感ジマス。ノデアリマス、奇怪デアリマス。ケレドモ唯今委員長ノ御尋ネデアリマスガ、斯様ナル諸願モ中ニハ多々アルト云フコトニ今日ノ現狀ハ相成ッテ居リマス。

○委員長(子爵八條隆正君) 三十年ノ法律五十號ニ依ッテ今度ハ出願ハ出來ナイガ、明治九年マデノ所デ一旦出願シテ訂正シテ貰ヒタモノデモ矢張り今度ノ新シイ法律ニ依ッテ出願シ得ルト云フコトニナルノデアリマス。

○政府委員(森俊六郎君) 三十年ノ五十號ニ依ッテ手續ヲ執リマセヌモノハ全部三十年五十號ニ依リ諸願ヲ致スコトガ出來ルト云フコトニ相成ル次第デアリマス。

○委員長(子爵八條隆正君) ソレデハ本田男爵ノ御意見モアリマス。故ニ、私モ亦至極御同感デアリマス。ガ、兎ニ角此本案ハ多年ノ懸案デアリマス。コトデアリマス。カラ、更ニ熱考スレバ又質問モ出マス。ト存ジマス、兎ニ角今日ハ是レデ散會イタシマス、今一回少クトモヤルト云フヤウナコトニ致シタイト存ジマス、今日ハ是デ散會イタシマス。

午前十一時四十四分散會

出席者左ノ如シ

政府委員

大藏省理財局長 森

俊六郎君

委員長	子爵八條	隆正君
副委員長	磯部	四郎君
委員	子爵池田	政時君
	松室	致君
	男爵山川	健次郎君
	男爵本田	親濟君
	男爵赤松	範一君